

博士前期課程(修士) / 共通科目 / 共通科目
科目コード:200012

アドバンスト フィジカル アセスメント Advanced Physical Assessment

担当教員	岩佐 和夫、石川 倫子、加藤美奈子、吉田 弘毅				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	臨床推論、身体診察、症状・徴候、人体の正常構造と機能、病態生理、臨床検査				
学習目的・目標	《学習目的》 さまざまな疾患について、臨床情報、他覚所見を客観的に評価し、人体の正常構造・機能と病態生理の知識を統合してアセスメントができるようにする。臨床推論や疾患の理解、最善のケアを考えることができる能力を獲得する。 《学習目標》 1. 系統的に診察する技能を身につける。具体的には、体表からみて、頸部・胸部・腹部の臓器・器官が体内のどこにどのように存在しているかを理解し、視診・聴診・打診・触診・神経学的診察を身につける。 2. 視診・聴診・打診・触診・神経学的診察で得られた所見の意味を判断できる能力を獲得する。 3. 臨床推論を実践し、異常所見からどのような病態が存在するのかを推測し、必要となる対処とケアを判断する。 4. 疾患理解と臨床検査の意義を理解し、身体所見と統合してアセスメントする。				
授業計画・内容					
回	内容	授業方法	担当		
1	アドバンス・フィジカルアセスメントとは正常？異常？どこがどんなふうに異常？	講義・演習	岩佐		
2	呼吸系のフィジカルアセスメント： 視診、触診、打診、聴診／呼吸器系の総合評価	講義・演習	岩佐		
3	脳・神経系と運動器のフィジカルアセスメント(1)意識障害、高次脳機能、髄膜刺激徴候、脳神経	講義・演習	岩佐		
4	脳・神経系と運動器のフィジカルアセスメント(2)感覚、運動(反射、ROM、MMT、運動失調)	講義・演習	岩佐		
5	循環器系のフィジカルアセスメント： 視診、触診、打診、聴診／循環器系の総合評価	講義・演習	加藤・石川		
6	生殖器系・外皮系のフィジカルアセスメント	講義・演習	加藤・石川		
7	消化器系・腎泌尿器系のフィジカルアセスメント	講義・演習	加藤・石川		
8	1)臨床看護場面を踏まえたフィジカルアセスメント 2)臨床推論とフィジカルアセスメント	講義・演習	吉田・石川		
9	臨床看護場面を踏まえたフィジカルアセスメント 3)胸痛を主訴とした患者へのフィジカルアセスメント 4)呼吸苦を主訴とした患者へのフィジカルアセスメント	講義・演習	吉田・石川		
10	臨床看護場面を踏まえたフィジカルアセスメント 5)頭痛を主訴とした患者へのフィジカルアセスメント	講義・演習	吉田・石川		
11	臨床看護場面を踏まえたフィジカルアセスメント 6)腹痛を主訴とした患者へのフィジカルアセスメント	講義・演習	加藤・石川		
12	臨床看護場面を踏まえたフィジカルアセスメント 7)乳房の違和感を主訴とした患者へのフィジカルアセスメント	講義・演習	加藤・石川		
13~15	医療面接、身体所見、検査所見を総合したアセスメントからの臨床推論(1)～(3) 症例検討会	課題発表・討議	岩佐		
教科書	『フィジカルアセスメントがみえる』(メディックメディア):学部のフィジカルアセスメント教科書 『ナースが症状をマネジメントする！症状別アセスメント』(メジカルフレンド社)				
参考図書等	『診察と手技がみえる』(メディックメディア) 『ティアニー先生の診断入門』(医学書院): 『ベイツ診察法』(メディカル・サイエンス・インターナショナル 日本語訳) 『なるほどなっとく解剖・生理学』(南山堂) 『カラー図解 人体の正常構造と機能』(第4版 日本医事新報社):図書館KinoDenからアクセス 『バイタルサインからの臨床診断』(羊土社) ラーニングスキル:Moodleからアクセス				
評価指標	出席 30% 実技 30% 討議・課題発表 40%				
関連科目	病態生理学				
教員から学生へのメッセージ	フィジカルアセスメントは、①正常な人体の構造と機能の理解、②様々な症状・徴候の背景にある病態の理解、そして③実際のトレーニングの上に成り立ちます。臨床推論を極めてみましょう。				